

2025年6月26日 社長会見要旨

【会見要旨】

本日は、「第 101 回定時株主総会」および「役員人事」「事業部門の組織体制見直し」などについて、お話しします。

【株主総会の開催報告】

はじめに、先ほど終了しました株主総会の結果について、ご説明します。

本日、午前 10 時から、札幌ビューホテル大通公園で開催し、11 時 48 分に終了いたしました。ご出席いただきました株主さまは、178 名でした。

議案の審議結果につきまして、当社が提案した議案は、多数の株主さまの賛成を得てご承認をいただきました。株主さまがご提案された議案はいずれも否決されました。

また、株主さまからは、原子力発電の経済性や安全性などに関するご質問やご意見をいただきました。ご質問に対しては、株主の皆さまにご理解いただけるよう丁寧にご説明しました。いただいたご意見につきましては、今後の社業運営の参考にさせていただきます。

【役員人事】

次に、お手元にお配りした資料をご覧ください。役員人事についてご説明します。

本日の株主総会において、監査等委員以外の取締役候補 8 名および監査等委員である取締役候補 1 名をご承認いただきました。

その後、開催した臨時取締役会において、会長、代表取締役、役付執行役員を、また、監査等委員会において、常勤の監査等委員をそれぞれ正式に決定しました。

役付執行役員の委嘱業務・担務については、2 ページのとおりです。

また、3 ページに記載のとおり、再任 10 名、新任 5 名の執行役員を任用します。役員人事のご説明は以上です。

【組織体制の見直し】

次に、お手元の参考資料をご覧ください。事業部門の組織体制の見直しについてご説明いたします。

当社は、本年 3 月に公表した「ほくでんグループ経営ビジョン 2035」のなかで、「北海道の発展に向けた GX 実現への挑戦」と「新たな価値創造に向けた挑戦」、これらを下支えする「持続的な成長に向けた経営基盤の強化」を経営テーマとして掲げています。

これらの経営テーマを力強く推し進める方策の 1 つとして、当社の中核をなす事業部門である販売推進部、総合エネルギー事業部、火力部の 3 部を、7 月 1 日付で「バリューマーケティング部」と「次世代エネルギー部」の 2 部に再編いたします。

「バリューマーケティング部」は、インタラクティブサービスプロバイダーとして、カーボンニュートラルに資するエネルギーソリューションと、エネルギー分野にとどまらない様々な商品やサービスを融合させ、新たな価値をご提供していきます。

「次世代エネルギー部」は、脱炭素エネルギー供給の担い手として、水素・アンモニアなどの次世代エネルギーの調達・製造・供給に関する取り組みや、カーボンニュートラル化を含めた火力発電事業を行ってまいります。

今回の見直しにより、ステークホルダーの皆さまの担当窓口を明確化しつつ、全道各地の支社・発電所でお伺いしてきたお客さまニーズや地域社会の課題を本店組織が的確に捉え、スピード感をもって戦略立案を行えるようにすることで、エネルギーの脱炭素化を加速させるとともに、お客さまへの提供価値の拡大・創造を図ってまいります。

【泊発電所構外における荷揚場の検討状況など】

最後に、お手元に資料はございませんが、泊発電所構外における荷揚場の検討状況などについて申し上げます。

当社は、新たに設置する荷揚場および専用道路を用いた泊発電所の燃料等の事業所外運搬について、安全で円滑に実現できるよう、設計方針をとりまとめ、先般、原子力規制庁や北海道、地元 4 町村にご説明しました。

今週 24 日には泊村渋井地区の住民の皆さま向けの説明会を開催しました。明後日 28 日には泊村の全住民の皆さま向けの説明会を予定しています。

加えて、泊発電所の審査状況や安全対策などについて、後志総合振興局管内の各市町村および道内各地の当社支社所在地で説明会の実施を計画しています。広く道民の皆さまにご理解いただけるよう、わかりやすく丁寧なご説明に努めてまいります。

私からは以上です。